

## 計画の推進

### 計画の進行管理、評価

- ・ 仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会に毎年度取り組み状況を報告
- ・ 成年後見制度の利用促進、再犯防止の推進については、関係者間で協議し、地域福祉専門分科会に報告
- ・ 地域福祉専門分科会の意見を踏まえ、施策展開を検討

### 市の関係部局内の連携

- ・ 福祉やまちづくり、防災、安全安心等、関わりのある庁内のさまざまな部局と連携しながら、分野の枠を超えた組織横断的な施策を展開

### 仙台市社会福祉協議会との連携

- ・ 仙台市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」に基づく地域福祉活動の推進
- ・ 地域福祉の現場の声を共有



## せんだい支えあいのまち推進プラン

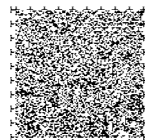
令和3年3月

発行／仙台市健康福祉局地域福祉部社会課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-8158 FAX 022-214-8194

E-mail: fuk005320@city.sendai.jp

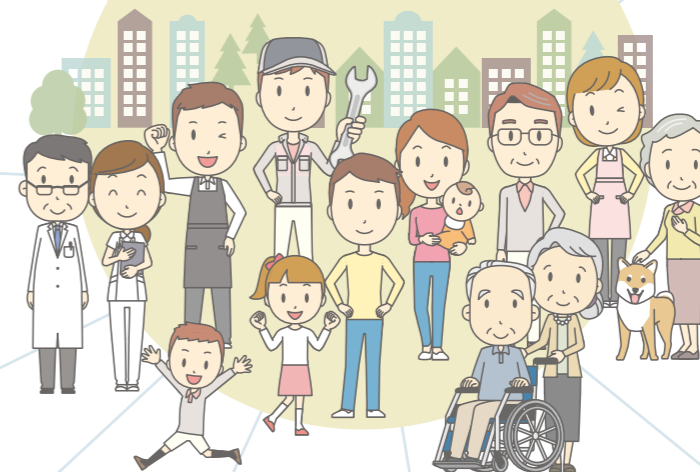


# ともに生き、 支えあうまちへ

## せんだい支えあいのまち推進プラン

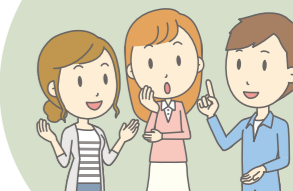
令和3年度～令和8年度

### 概要版



このプランは、誰もが地域で安心して暮らしていけるよう、  
住民一人ひとりが地域や社会に参加するとともに、  
困りごとを抱えた人を孤立させることなく、  
みんなで支えあう地域をつくっていくことを目指すものです

仙台市

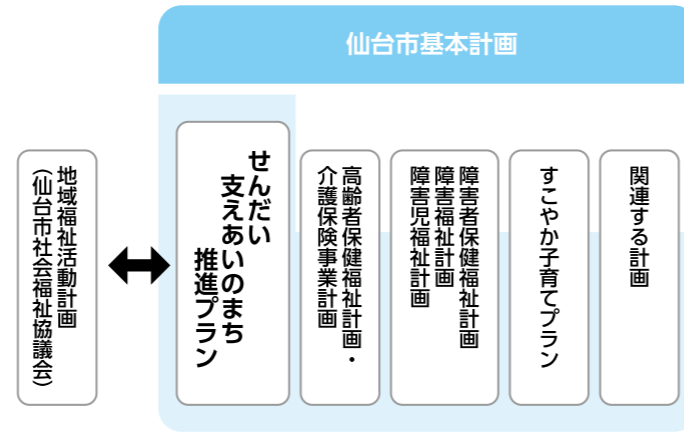


## 位置づけ

本計画は、法に基づく「市町村地域福祉計画」「市町村成年後見制度利用促進基本計画」「地方再犯防止推進計画」の3つが一体となった計画です。

「仙台市基本計画」を上位計画とし、高齢、障害、子ども・子育てなど、福祉の分野別計画と整合を図りながら策定しました。また、仙台市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」とは計画の理念や目標を共通のものとするなど、相互に連携を図っています。

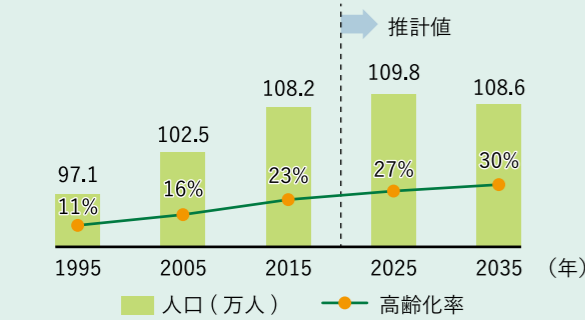
計画期間は令和3年度から8年度までの6年間です。



**SDGs** SDGs (Sustainable Development Goals) は持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた 2030 年までの国際目標です。「誰一人取り残さない」という SDGs の理念は国の目指す地域共生社会の姿や本市の目指すまちづくりの理念と重なるため、本計画では SDGs の理念や目標の実現を意識した取り組みを進めていきます。

## 統計データでみる仙台市の現状

### 仙台市の人口推移と見込み



【資料】2015 (H27) までは国勢調査結果  
2025 (R7) 以降は仙台市まちづくり政策局資料

### 町内会加入率 (%)

	H29	H30	R1	R2
加入率	79.7	79.1	78.2	77.5

【資料】仙台市市民局 (各年 6 月 1 日現在)

### 民生委員児童委員充足率 (%)

	H22	H25	H28	R1
充足率	97.1	97.0	95.8	94.0

【資料】仙台市健康福祉局  
※過去 4 回の一斉改選時 (12 月 1 日現在) の状況

### 保護司充足率 (%)

	H29	H30	H31	R2
充足率	92.3	89.3	85.8	85.4

【資料】仙台保護観察所 (各年 1 月 1 日現在)

仙台市の人口は近い将来にピークを迎えた後、緩やかに減少を続ける見込みです。

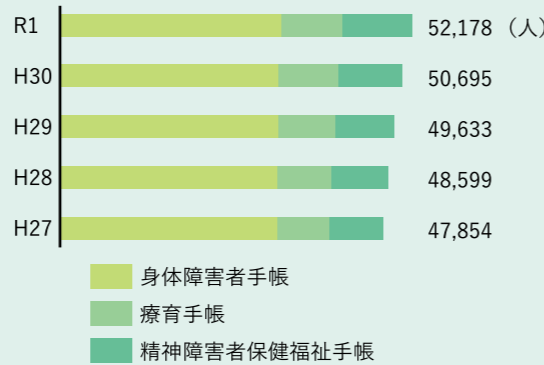
また、要支援、要介護認定者や障害者手帳所持者数の推移から、地域で支援を必要とする人が増加傾向である一方で、町内会加入率、民生委員児童委員や保護司の充足率が減少傾向にあることがうかがえます。

### 要支援、要介護認定者数の推移



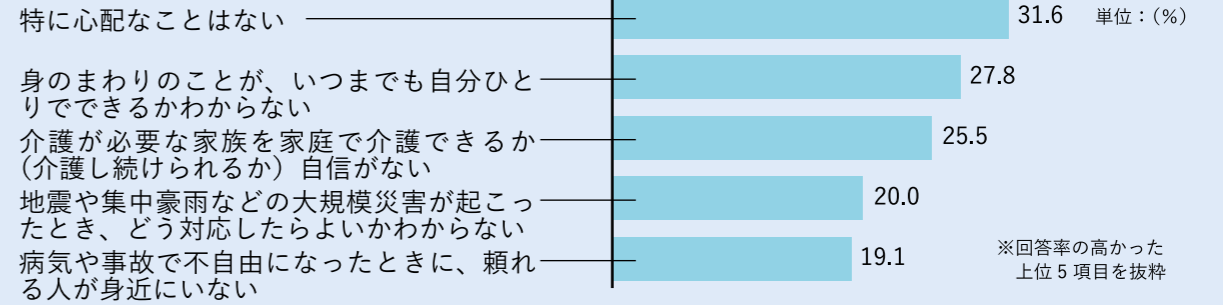
【資料】仙台市健康福祉局 (各年 10 月 1 日現在)

### 障害者手帳所持者数の推移



【資料】仙台市健康福祉局 (各年度末現在)

## 市民アンケート調査



令和元年度に、市民 5,000 人を対象に、「地域の福祉に関するアンケート調査」を実施しました。

地域で生活していく上での心配事が「特にない」とする人が 3 割程度いる一方、自分や家族の将来を心配する人や災害が起きたときの心配をする人も多くいます。また、平成 26 年の調査から比べると、地域の人とのつながりが弱くなっている様子がうかがえます。

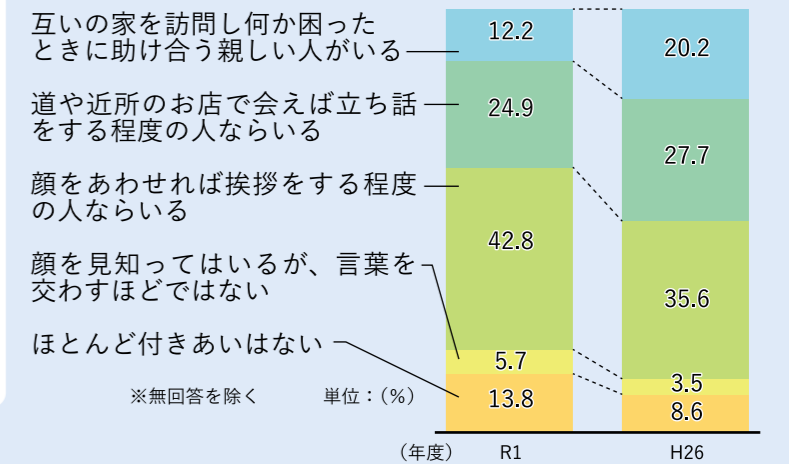


## 住民座談会

令和 2 年 8 月から 10 月にかけて市内 6 地区で住民座談会を開催しました。さまざまな団体から地域活動に携わる方々が参加し、支えあい活動などの現状や課題、取り組みの工夫などを話し合いました。

**主な課題** 地域活動の担い手不足、高齢化 / 若い世代とのつながりが薄い / 複合的な課題を持つ世帯が増えている / 誰ともつながれず孤立している人がいる / 支援が必要な人と地域とのつながりが薄い等

## 地域や人との関わりの程度



## 第 3 期仙台市地域保健福祉計画の振り返り

### 重点施策

- 仙台の強みを活かした新たな担い手の育成
- 地域団体による福祉活動の充実・強化
- コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と人材育成の促進
- 災害に強い地域づくり
- 地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの強化

### 今後も継続が必要な取り組み

- 若い世代や多様な主体が地域活動へ参加しやすい環境整備や仕組みづくり
- 地域団体や活動者が活動しやすい環境づくり
- コミュニティソーシャルワーカーのスキルアップ、体制のあり方検討
- 地域の実情に応じた災害時の要援護者支援体制づくり  
災害時の担い手育成による地域の防災力向上
- 住民の困りごとの早期発見や継続して支援する体制づくり  
制度や分野の枠を超えた横断的な支援ネットワークの強化

## 策定の考え方

### 仙台市地域保健福祉計画 (第1期-第3期)

基本理念  
「誰もがそれぞれの地域で、自立し、安心して、自分らしい充実した生活を送ることができるまち」



### 地域共生社会の実現

制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助けあいながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創っていく

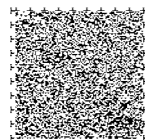
### 包括的な支援体制の整備

支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な生活課題について、地域住民や福祉関係者の気づき、関係機関等との連携により、制度や分野の枠にとらわれず解決を図る

### 地域福祉のさらなる推進

### 成年後見制度の利用促進

### 再犯防止の推進



## 基本理念

ともに生き、支えあうまち

## 基本目標

誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなで作る

### 基本的方向 1

多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進

### 施策の方向

共生の意識を高める取り組みの推進

ニーズに合った多様な居場所づくり

就労や住まいの確保の支援の推進

誰もが暮らしやすい生活環境の整備

### 基本的方向 2

地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

### 施策の方向

地域福祉活動への参加と人材育成の促進

地域のさまざまな主体による活動の充実・強化

多様な主体のつながりによる地域づくりの推進

災害に備える地域づくり

### 基本的方向 3

多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

### 施策の方向

日頃の見守り活動の促進

身近な相談機能の充実

複合的な課題にチームで対応するための仕組みづくり

多様化するニーズに対応する福祉サービスの充実

### 生活困窮者自立支援

#### 一人ひとりに寄り添い、自立まで伴走する支援

自立相談支援体制の充実  
住まいが不安定な方への支援の充実  
支援機関、部署等が連携した支援とネットワークの強化

### 成年後見制度利用促進

#### その人の意思に沿った、その人らしい暮らしを支える

積極的な権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築  
市民後見人が活躍できる環境づくり

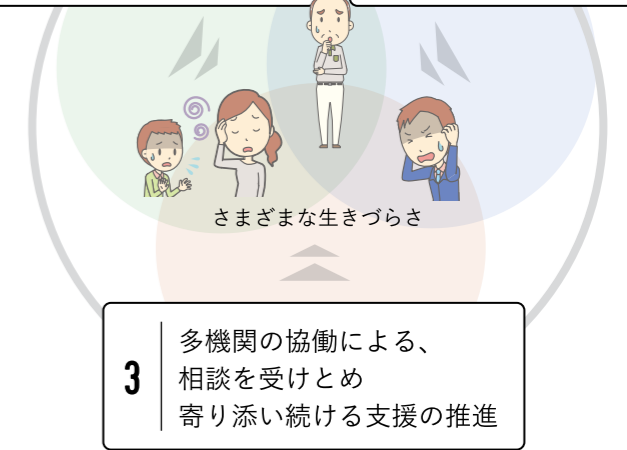
### 再犯防止推進

#### 犯罪や非行からの立ち直りを支援し、再犯による新たな被害を防ぐ

支援へのつながりと、息の長い支援のための連携促進  
立ち直り支援への理解と協力を広げる地域での立ち直りを支える取り組みの推進  
被害者支援、地域の安全安心の推進

## 取り組みのイメージ

- 1 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進
- 2 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

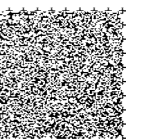
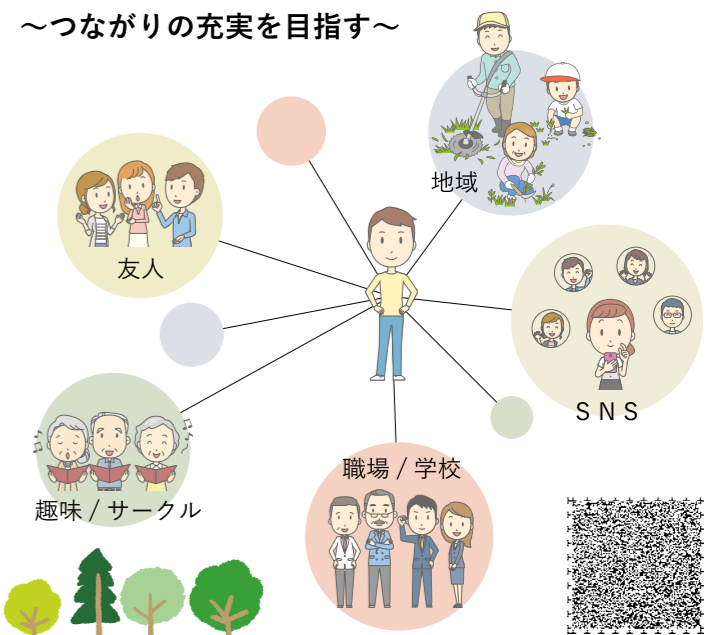


包括的な支援体制の整備の推進

地域共生社会の実現



～つながりの充実を目指す～



## 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進



### 基本的方向 1

それぞれの人が持つ多様な価値観や背景を、みんなが理解する機会や場づくりを進め、お互いを認めあう社会を醸成していくことを目指します。

誰もが地域や社会とのつながりをつくれるよう、安心できる居場所づくりや住民相互の交流、就労や住まいの確保の支援を進めます。

年齢や性別、障害の有無、国籍の違い等にかかわらず、誰もが暮らしやすい生活環境の整備に取り組んでいきます。

【主な取り組み】 広報・啓発による地域福祉への理解促進 / 多様性の理解 / 人権、福祉、防災教育 / 居場所づくり / 当事者及び家族の交流 / 多世代交流 / 居住支援、就労支援 / 住宅セーフティネット機能の構築 / バリアフリー化と普及啓発 / 情報保障 等



▲地域福祉等への理解促進を図る地域福祉セミナー

## 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

地域の強みや魅力、抱える課題に住民自身が気づき、その強みを活かして課題の解決を図るための取り組みを進めることが必要です。

誰もが主体的に地域社会と関わりを持ち、ともに地域をつくっていくことを目指し、人材育成や活動支援に加え、これまでに積み重ねてきた取り組みや関係性を活かし、多様な地域の担い手が連携・協働した地域づくりを進めていきます。

日常生活の支えあいの力を、災害時にも活かしていきます。



### 基本的方向 2



▲地域のサロン活動の様子

【主な取り組み】 地域福祉活動の情報発信 / 活動事例や課題の共有 / 担い手育成 / 小地域福祉ネットワーク活動、民生委員児童委員活動への支援 / CSW による支援の充実 / 協働による地域課題解決への取り組み / 要援護者支援体制づくりのための啓発・支援 / 地域の防災意識と防災力の向上 等

## 多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進



### 基本的方向 3

本人や世帯の抱える課題が複雑化・複合化しています。支援が必要な人に寄り添いながら、それぞれの状況に応じた柔軟で継続的な対応が必要です。

困りごとを抱えた人を早期に発見し、継続して支援するため、地域住民等の日頃の見守り活動と、身近な相談機関等での相談機能の充実を図っていきます。

複合的な課題には、地域住民や相談機関、医療機関、福祉関係者などの多職種、多機関がチームで対応していくことが必要であるため、ネットワークの充実や仕組みづくりを進めていきます。

【主な取り組み】 見守り活動の促進 / 相談の受けとめと必要な支援へのつなぎ、伴走支援 / 各分野の相談支援機能の充実 / 分野を超えた連携と支援体制のあり方検討 / 複雑・複合的な課題への対応強化 / 地域の支援者と関係機関の支援ネットワークづくり / 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の推進 等



▲民生委員の訪問の様子

基本的方向 1～3 の内容について、仙台市でこれまで分野別の計画として定めのない、生活困窮者自立支援、成年後見制度利用促進、再犯防止推進の取り組みを再整理します。専門的な支援が中心となりますが、その土台となるのは、地域の皆様の「理解」や日頃の見守り活動等での「気づき」を支援機関につないでいただくなどの「協力」です。



## 一人ひとりに寄り添い、自立まで伴走する支援

働きたくても働けない、住むところがないなど、生活全般にわたるさまざまな困りごとや不安を抱えた時に、どのような支援が必要かを一緒に考え、課題の解決と自立に向けた支援を行います。関係機関とのさらなる連携を図り、一人ひとりに寄り添いながら、自立への最初の一步を踏み出す支援を進めていきます。



▲自立相談支援機関で相談に応じている様子

【主な取り組み】 積極的につながることによる効果的な支援推進 / ホームレスの方への支援 / 住まいが不安定な方への支援 / 生活に困窮している方の課題を共有し連携して支援する仕組みの活用 / 支援ネットワークの強化

### 生活困窮者自立支援

## その人の意思に沿った、その人らしい暮らしを支える

認知症や知的障害、精神障害などにより、自分の思いを伝えることや利益・不利益を判断するのが難しくなると、身体・精神・財産の被害を受けやすくなります。そうした被害から守るとともに、誰もが自分の暮らし方について、自分で考え、自分で選び、自分らしい暮らしを続けられるよう支援していく地域の仕組みづくりを進めます。

### 成年後見制度利用促進

【主な取り組み】 積極的な権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり / ネットワークを構成する「協議会」、具体の支援の進行管理等を行う「中核機関」の整備 / 市民後見人の活動機会の拡充と活動支援の充実



▲成年後見制度を分かりやすく伝える成年後見セミナー

## 犯罪や非行からの立ち直りを支援し、再犯による新たな被害を防ぐ

罪を犯した人は社会的に孤立しやすく、刑務所から社会に戻っても住まいや就労など生活基盤を築くことや必要な支援を受けることが難しく、それが更生を妨げる要因の一つにもなっています。立ち直りを支えることは、再犯による新たな被害を防ぐことにつながります。市民の理解のもと、関係機関が連携を一層深め、必要な支援につながる環境づくりを進めていきます。



▲社会を明るくする運動の啓発活動

【主な取り組み】 再犯防止推進ネットワーク会議の設置 / 更生支援の啓発、保護司などの活動周知 / セーフティネット住宅登録制度、協力雇用主制度等の周知 / 依存症理解の推進 / 就労や住まいの確保の支援 / 多様な居場所づくり / 学校との連携

### 再犯防止推進